

北区版

保存用

平成28年6月作成

浸水（内水） ハザードマップ

本マップは、大雨によって下水道施設や用水路及び側溝で排水しきれなくなった雨水が街に溢れ、浸水が発生した場合を想定したマップです。

もしもの時に備え、浸水の想定区域・避難場所などを確認いただき、被害軽減のためにご利用ください。



平成6年7月 七夕豪雨 錦町地内

旭川などの河川堤防の決壊を想定した洪水での浸水とは異なります。
詳しくは情報面をご覧ください。



浸水（内水）ハザードマップについての問合せ
・岡山市 下水道河川局 下水道河川計画課
TEL:086-803-1499

内水と洪水のちがい

内水による浸水とは

雨の量が下水道などの排水施設の能力を超えるときや、河川などの排水先の水位が高くなった時に雨水を排水できなくなり、住宅地や道路などが浸水することです。

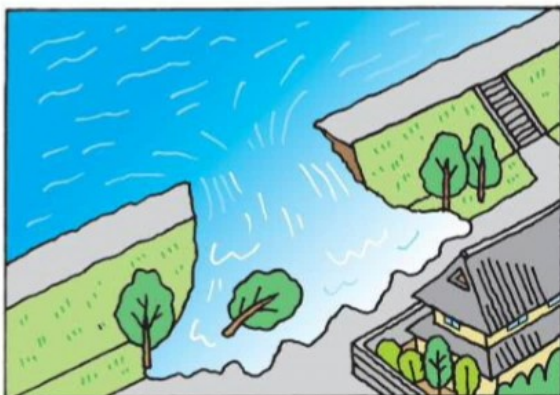
近年、都市化の進展により内水による浸水の危険性が高まっています。



洪水とは

洪水とは、長時間雨が激しく降るなどして河川が増水し、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊して氾濫することです。

洪水は、家屋の倒壊や流出など、大規模な被害を引き起こすことがあります。

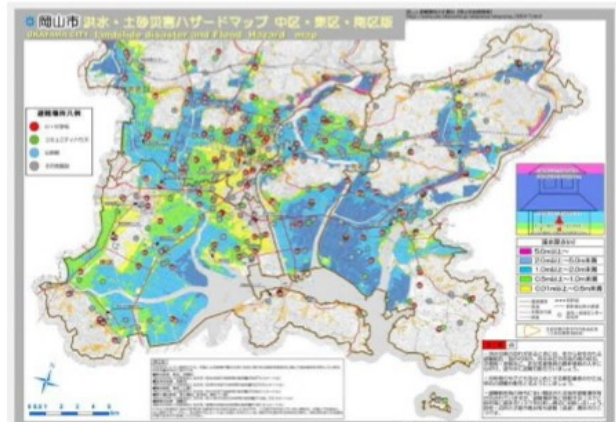


洪水の恐れがあるときは

浸水（内水）ハザードマップは、洪水による浸水は想定していません。

洪水が発生しますと速やかな避難が必要ですので、災害情報に注意してください。

洪水が発生した場合の浸水想定区域は、【洪水ハザードマップ】に示していますので、そちらを参照してください。



大雨が降ってきたら

正確な情報収集

正確な情報収集と自主的避難を

ラジオ・テレビ、インターネットなどで最新情報、災害情報、避難情報を確認しましょう。

雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難をしましょう。



避難の呼びかけに注意を

危険が迫ったときには、市役所や消防署から避難を呼びかけることがあります。呼びかけがあったときは、速やかに避難しましょう。



避難時の留意点

危険を感じたら

浸水してしまったときは、建物の2階以上の高い場所へ移動し、水が引くのを待ちましょう。



動きやすい服装、2人以上での避難を

避難するときは、動きやすい服装で避難しましょう。

また、単独行動は避け、2人以上での避難を心がけましょう。



異常を発見したら

浸水しそうな場所や雨水が噴出してマンホールの蓋がはずれそうな場所など、異常のある箇所を発見したときは、近づかないようにしましょう。



危険箇所に注意を

浸水の恐れがある立体交差点（アンダーパス）や土砂災害のおそれがある場所などは、二次災害のおそれがありますので、近づかないようにしましょう。



車での避難は控えて

車での避難は、緊急車両の通行の妨げになりますので、特別な場合を除きやめましょう。

また、水防活動の妨げになりますので、自動車を堤防や道路に放置しないようにしましょう。



段差・溝に注意を

避難するときは、できるだけ浸水していない道路を選びましょう。また、浸水している場所では、側溝や水路などへ転落の危険があり、長い棒を杖代わりにして、十分注意しましょう。



大雨が降ってきたら

地下空間の危険性

地上が冠水すると一気に水が流れこんできます

換気口など思わぬところから水が入ってくる可能性があります。
また、水が流れ落ちてくると、階段は登ることができなくなります。



水圧でドアが開きません

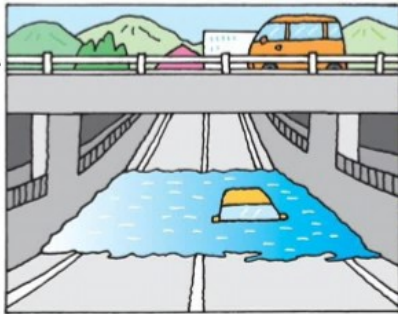
浸水すると、外開きでも内開きでもドアを開けることができなくなります。



注意を要する箇所

立体交差点・地下道

道路や鉄道などが立体交差し、道路が低くなっている所（アンダーパス）は、水がたまるため通行ができなくなります。



低いところ（窪地）

アンダーパスのほか、周辺の土地より低くなっている道路なども、周辺の土地から水が流れ込み、水がたまるため通行ができなくなります。



雨の降り方と浸水の関係を知る

雨の強さの目安

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に10～20mm	1時間に20～30mm	1時間に30～50mm	1時間に50～80mm	1時間に80mm以上
ザーザーと降る雨	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る雨	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる雨
				
この程度の雨でも長く続くときは注意が必要です。	浸水の危険性が高まります。アンダーパス、半地下のところの浸水の発生に注意が必要です。	低い土地での浸水が始まります。身の安全を確保し、土のうの設置など浸水被害軽減の対策が必要です。	地下室や地下街に雨水が流れ込む場合があります。マンホールからは水が噴出します。蓋がはずれたマンホールや、浸水した側溝に注意が必要です。	雨による大規模な災害の発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要です。

日頃からのそなえ

心得と準備

避難場所と避難ルートの確認を

日頃から、浸水時の避難場所と安全に移動できる避難ルートを確認しておきましょう。

浸水の状況の変化に備え、複数の避難ルートを考えておきましょう。



浸水を防止するために

雨水ますの上部に溜まったゴミや落ち葉の清掃をしましょう。



非常時持ち出し品（例）

ハザードマップ



貴重品



懐中電灯



ラジオ



携帯電話、スマホ



非常食
飲料水



医薬品



マッチ
ライター



タオル、ティッシュ



衣類



防寒具
雨具



ビニール袋



わが家の防災メモ

●家族の連絡先・緊急用のデータ

家族の名前	家族の生年月日	血液型	会社・学校の電話番号	我が家の避難場所
	M・T S・H 年 月 日			
	M・T S・H 年 月 日			
	M・T S・H 年 月 日			
	M・T S・H 年 月 日			

防災機関問合せ先

■緊急時連絡先

- ・岡山市災害対策（災害警戒）本部
- ・北区本部
- ・中区本部
- ・東区本部
- ・南区本部

TEL:086-803-1600※
TEL:086-803-1850※
TEL:086-901-1643※
TEL:086-944-5100
TEL:086-902-3500

※災害時のみ開設

■防災、土のう等の相談について

- ・北区役所総務・地域振興課
- ・中区役所総務・地域振興課
- ・東区役所総務・地域振興課
- ・南区役所総務・地域振興課

TEL:086-803-1657
TEL:086-901-1642
TEL:086-944-5006
TEL:086-902-3500

家庭でできる浸水対策（自助）

簡易浸水対策

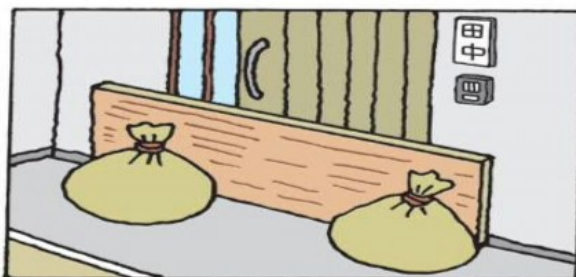
土（水）のう

土のうや簡易水のうなどを使用し、浸水を防ぎます。



止水板

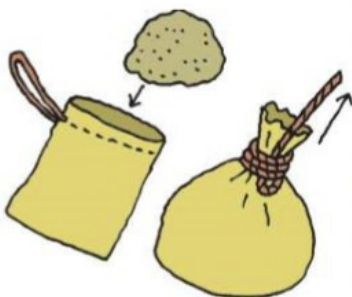
土のうや簡易水のうを作り、長めの板などと組合せ利用し、浸水を防ぎます。



土のうや簡易水のうなどの作り方

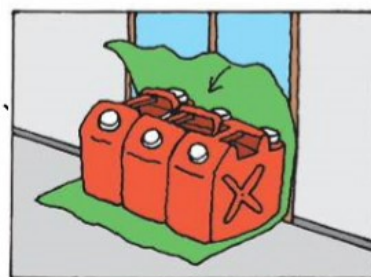
土のう

土のう袋に7～8割程度の土や砂を入れ、袋の口を絞り、袋の口の周りにひもを2～3回まわし、まわしたひもの下にひもの先端を下から上へ通して締めます。



ポリタンクとレジャーシート

10～20リットル程度の容量のポリタンクに水を入れ、数個をまとめてレジャーシートで包み使用します。



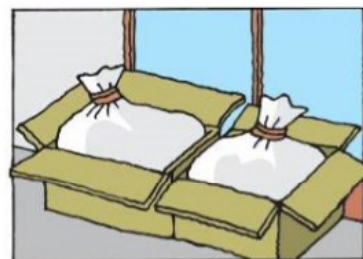
プランターとレジャーシート

土を入れたプランターをレジャーシートで包み使用します。



ゴミ袋による簡易水のう

45リットル容量のゴミ袋を二重にし、中に半分程度の水を入れてひもで締めます。これを段ボール箱などに入れ使用します。



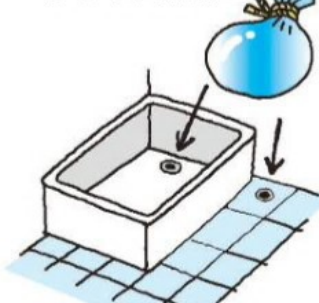
思わぬ場所からの浸水を防ぎましょう

浸水時には、トイレやふろ場、洗濯機の排水口などの思わぬ場所から下水が逆流することがあります。排水口を水のうで防ぎ対応しましょう。

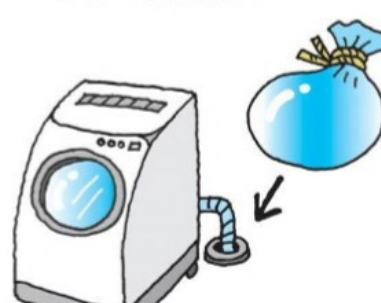
トイレの排水口からの逆流防止



ふろ場の排水口からの逆流防止



洗濯機の排水口からの逆流防止



要配慮者への支援（共助）

高齢の方、障害者の方など、情報の把握や避難の行動に時間がかかる方は、早めに避難をする必要があります。これらの方が早めに避難できるよう支援しましょう。また、近所に、避難に際し援助を必要とする方がいるときは、その避難にも協力しましょう。

高齢の方・病気の方には

車いすや応急の担架などを使い、2人以上で避難に協力しましょう。

緊急の際はロープなどを使い背負って避難しましょう。



目の不自由な方には

まず、「お手伝いしましょうか。」などと声をかけましょう。

次に、杖を持っていない側にまわり、案内者の腕を軽く持ってもらいます。階段や障害物などの状況を説明しながら、半歩前をゆっくりと歩きましょう。



耳の不自由な方には

近くによって相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきりと動かして話しましょう。

また、紙に書く、身振りをするなどして情報をわかりやすく伝えましょう。



体の不自由な方には

車いすでの避難には、必ず3人以上で協力しましょう。

階段を上がるときは車いすが前向きに、下がる時は車いすが後ろ向きになるように避難しましょう。



外国の方には

声をかけ、言葉が通じないときは、身振り手振りを交えて話しかけるなどして、孤立しないようにしましょう。



妊婦・乳幼児には

妊婦や乳幼児がいるときは、避難の行動が遅れることがあります。

避難する際などは地域の皆さんで協力して助け合いましょう。



防災情報の入手方法

災害時には、いち早く正確な情報を得ることが重要です。テレビ(ケーブルテレビ)、ラジオ(コミュニティFM)、防災行政無線、緊急速報メール、ツイッター等のSNS、広報車・消防団による広報にくわえ、次のような情報源がありますので、積極的に活用しましょう。

テレビから入手

デジタルデータ放送(リモコンの「d」ボタンを押す。)からも、リアルタイムで情報を入手することができます。

発信情報として、

- ・ 気象情報
- ・ 河川水位や潮位などの観測情報
- ・ 避難情報など

□放送事業者 NHK岡山放送局 (H27. 4. 1時点)



パソコンから入手

岡山県総合防災情報システム

■ おかやま防災ポータル

県内の気象情報(注意報・警報、気象レーダー等)、雨量情報、土砂災害危険度情報、河川水位情報、河川カメラ情報等をリアルタイムで確認することができます。

□検索サイト 「岡山県総合防災情報」を選択
□URLを入力 <http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/> を入力

■ 岡山県防災マップ <http://www.gis.pref.okayama.jp/bousai/>

洪水、土砂災害、地震による危険度情報や市町村のハザードマップ一覧を掲載しています。



携帯電話・スマートフォンから入手

岡山県総合防災情報システム

■ おかやま防災ポータル

県内の気象情報(注意報・警報、気象レーダー等)、雨量情報、土砂災害危険度情報、河川水位情報、河川カメラ情報等をリアルタイムで確認することができます。

□検索サイト 「岡山県総合防災情報」を選択
□URLを入力 <http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/> を入力
□携帯用QRコード(※)を読み込む



(※) 携帯用QRコード

■ おかやま防災情報メール

県内の気象注意報・警報、土砂災害警戒情報、地震・津波情報、避難情報等が直ちにメール配信されるサービスです。登録無料(通信費は別途必要)

登録方法

- ①上記の「おかやま防災ポータル」のサイトにアクセスし、「おかやま防災情報メール配信」を選択
サイトの指示に従ってからメールを送信します。
- ②登録メールが届いたらサイトにアクセスし、簡易登録を選択の上、配信を希望する市町村にチェックをつけます。選択した内容の確認後、登録ボタンを押せば登録完了です。(詳細登録で配信を希望する防災情報を選択して登録することもできます。)

